とくながでんき通信

R7.11
NO.132

みなさん、こんにちは。徳永剛です。娘を持つ父親のちょっと残念なアルアル話を今回は聞いて頂きたい。20年以上昔の話なのですが、これでも私は一部上場企業の建設会社に勤めていたのです。まあ忙しかったのだ。仕事もだが、遠方にいたり、付き合いでまあ良く飲みに行ったものです。当時は土曜日、祭日は休みでは無かったのです。仕事、仕事、仕事。なのにプライベートでも唯一の休みの日曜日に付き合いでゴルフに行ったり、上司と釣りにも。よって娘達の入学式、卒業式には全く参加しなかったのだ。父親の授業参観や運動会にも全く行かなかったのです。

そこでトビ職の同級生で娘を持つ父親の話。彼も学校行事とかに私と同様、なかなか参加出来なかったのです。娘が小学校高学年になった時の事、彼は授業参観に初めて参加したのだ。初めて見るゴツイ男に教室がざわつく。「だれだれ?」と。そしてそのトビ職の同級生はボヤくのだ。「娘がよ～、みんなの前でお父さんって呼ばんがよ～。なんて言ったと思う？」「･･･、隣のおじさん･･･って言うのよ～。どげん思う？ええ～！はあ！」 娘を持つ父親の残念なアルアルだ。その同級生にこの前、現場で久々に再会したのだ。娘さんは婚約したんだそう。思春期が「隣のおじさん」と呼ばせたのだろう。きっと結婚式では「お父さん」と紹介されるハズなのです。でもいまだに娘さんとは会話は少なめだとか。

ここで過去に入選したサラリーマン川柳を紹介しよう。「口きかぬ　娘(こ)のインスタ　いいね！押す」「音沙汰の　ない娘(こ)既読に　安心し」「娘まで　何を聞いても　個人情報」（う･う･う･うまい！）

他にもアルアル話はあるのだ。私の娘が小学生くらいの時、言ったのだ 「お父さんの鼻だよね～って言われたんだって。最悪！違うよね～」って。いいじゃないか。お父さんに鼻が似てるぐらい。親子なんだから。と私は思うのだ。他にも実は娘の中学校の運動会の時に私の同級生から言われたのです。「お前の娘は見てすぐ分かったが～。お前にソックリやらよ～」って。娘には言わんかったけど。だから親子なのでどこかは似ているのだ。世の中の娘さん、諦めてくれ。濃い～DNAだ。残念！

ここでまたサラリーマン川柳を紹介しよう。「パパ似だと　言われて泣き出す　わが娘」（あんまりなのだ）

他にも世間一般的には、娘を持つ父親の残念なアルアルはたくさんあるのだ。「お父さんには関係ないから」とか「お父さんにはどうせ分からないでしょう？」とかでお父さんは会話のスタートラインにも立てないのです。「洗濯物は一緒に洗わないで～」とかもよく聞く話だ。お父さん達は小さい頃の「パパ～」って抱きついて来たあの感触。心からパパ大好きってあの頃の娘の本当の愛のあるマナザシ。両手を広げダッコをせがむあの笑顔の光景を忘れっれないだけなのです。お母さんもダメなのだ。きっと知らず知らずお父さんの悪口を娘の前で言ってるのだ。「パパはほんとにダメね～」

ここでまたサラリーマン川柳だ。「娘との　ままごとで知る　ママのグチ」（ざぶとん一枚持ってきて～）

さらにもっと娘と妻に嫌われた父親もいるのだ。サラリーマン川柳を紹介しよう。「我が家では最強スクラム妻･娘」からの「父帰る　娘出かける　妻眠る」（ひえ～）

我が家で娘が社会人になった今でも残念なアルアルが一つだけ続いてるのだ。娘達と母親はすごく話が合うのだ。仲がいい。そして帰省した娘達は母親の作ったご飯が食べたいのである。けっして父親と世間話をしたい訳ではないのだ。そんなこたあ分かってる。ガッツリ父親と呑みたい訳ではないのである。そんなこたあ合点承知の助なのだ。そのうえで繰り返される会話があるのだ。それは私だけが家に居た時に娘が繰り返し言う言葉だ。「え～誰もいないの～」

ここでサラリーマン川柳だ。「娘来て、誰もいないの、俺いるよ」（山田君ざぶとん3枚持ってって！）では。

私は、高校が女子高でした。高校の校訓 「心清き物は幸いなり」「イヤな事は私が喜んで」いう学校の教えがありました。

この教えを守るのはなかなか難しい事かもしれません。体も最近、すぐ疲れるし、今は自分の事でいっぱいいっぱい。忙しいと周りに目を向ける余裕がない。きっと余裕を持つ努力をしていないからカモ。さらに年のせいにしてしまう自分もいる。やる前から言い訳をしてしまう自分もいる。💦って思ってしまう。

一年に数回、私はこんな風にセンチメンタルになるのです。私は何を学んで来たのか？感謝の心は持っているか？今、仕事をさせていただいてる事のありがたさを忘れてしまってないか？　自分の事ばかり主張していないかな？とか。怠けていないかな？とかとか。

さらには子供や天国から見ている父母･義父に恥ずかしくないように生きられてるかな？とかいつまでも心に問いかけてしまう。

今までは気合で何とかなっていたけれど、今は勢いや気合いだでではどうにもならなくなって来ました。気持ちをどう持って行っていいか分からなくなります。元気印の私ですが･･･秋は何かと夏の疲れも出て･･･物思いにふけってしまいます。

こんな時の気分転換は食べる事。旨い料理をお友達と笑いながら、愚痴りながら、ぼやきながら食べる。たくさんおしゃべりをして、たくさん笑うのです。「生きてるだけで丸儲け」精神で明日からまた頑張るために美味しい料理を気の合う仲間と食べるのです。みなさんはどうしてますか？いい方法があれば是非教えて下さい！

ササっとレシピ

- ピーマン
- かにかま(ちくわ)
- 塩昆布
- ごま油

お弁当にちょこっと足してもいいですよ♥

上記の材料は適量。
塩昆布は後で味が効いてくるので少なめに入れて下さい。
ごま油は香りが出て食欲も出ます。ピーマン嫌いでも案外いけるかも！！

作り方

①ピーマンは、半分に切り種を取り除きヘタを取り横向きにして薄めに切ります。
②かにかまは半分にして裂きます。ちくわでするときには縦に半分にして半月の形に薄めに切ります。
③そこに塩昆布を少なめに入れて、ごま油をくるっと回し入れ混ぜ合わせます。しばらく置くとしんなり味がしみてくるので味見をして塩昆布を足すか調整してみてください。
常備菜になりますよ。

★会社名：徳永電機(株)　（アトム電器東市来店）
★社員　：　8名
★ご提供できるもの：給水装置工事、水道工事、空調設備、浄化槽工事
　オール電化工事、家電修理･販売、住宅リフォーム工事全般
★モットー：お客様のご不満･ご不便を解消し喜んでいただくこと。地域に根ざしたｻｰﾋﾞｽ
★好きな言葉：元気が一番、元気があれば何でもできる(byアントニオ猪木)
★会社の場所：日置市東市来町湯田3249(錦龍館様となり)

ゆっくり
裏面もみてね